

令和元年度 第8回「知事と一緒に生き生きトーク」の発言要旨

- 1 テーマ：多文化共生社会の実現に向けて
- 2 日時：令和2年1月28日（火）10：30～
- 3 場所：岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 4 参加者：県内在住の外国人と、地域での受け入れ・共生や外国人材の確保に係る業務等に関わっている関係者や事業者：8名

5 知事挨拶

育ってきた環境や文化が違う外国人との共生を検討するため、岡山に実際に住んでみて感じたこと、相談対応や交流事業、外国人材の受け入れ等の中で気付いた課題などについて、それぞれの立場から、率直な意見をいただきたい。

6 発言要旨

【岡山に実際に住んでみて感じたこと】

- ・日本に来て困ったのは、病院での会話である。病気になった時、どこに行けばよいか分からず、医者言葉の意味も分からなかった。
- ・外国人児童への日本語教育も深刻な問題である。外国人児童が日本語を話せず、また、親も仕事が忙しく、教師もどう対応すればよいか分からないため、子どもが孤立してしまうケースがある。
- ・母国では当たり前のこと（自宅でカラオケなど）が、日本ではマナー違反になることがある。
- ・言語や習慣において、日本人と外国人にはまだ壁がある。
- ・外国と文化交流している地域が少ない。
- ・職場における同僚からのいじめや、会社からの給料未払いを受けたとき、どこに相談したらよいか分からなくて困っているケースがある。
- ・岡山県外国人相談センターを知っている人が少ない。
- ・中国人のコミュニティはあるが、アメリカやヨーロッパのコミュニティが少ないため、アパートを探す時や病気になった時に必要な情報が得られず、苦労した。
- ・日本国籍でも海外在住が長いため日本語が苦手な人や、日本語が上手な海外留学生、両方の国籍を持った人など、国籍と言語の組み合わせが多様になっている。

【多文化共生社会の実現に向けての課題】

- ・岡山県外国人相談センターにおいて、外国人からの相談に多言語で対応していることが知られていない。
- ・役所や病院への通訳派遣を行っているが、病院への派遣など緊急を要する時、すぐに対応することが難しいことがある。
- ・技能実習生が日本語を学ぶため日本語教室に来るが、開催日時と仕事の都合が合わず、継続して受講できないことがある。
- ・外国人が少ない地域では、外国人に住居を貸すことを敬遠するところもあり、日本側の心理面での受け入れ態勢が整っていないと感じる。
- ・日本のテレビ番組を見る習慣がない外国人も多く、災害情報などが入手しづらい。

【外国人を受け入れるメリット】

- ・外国人正社員の採用には反対の声もあったが、入社後は、会社の雰囲気が変わり、社員の教育・グローバル化にもつながった。

【多文化共生社会の実現に向けたアイデア】

- ・もっと外国人と地域の人との交流イベントを開催した方がよい。
- ・外国人の意見を調査し、外国人の生活を守るための横断的な組織が地域にあればよい。
- ・来日時に、日本文化・マナーの説明や役所での手続きをサポートしてくれるバディ（仲間・相棒）のような存在がいればよい。
- ・お祭りやホームステイ等を通じて、岡山県民と留学生コミュニティのつながりを強くした方がよい。
- ・役所等で、外国人のための相談窓口の電話番号を記載したカードを積極的に設置・配布すればよい。
- ・岡山県外国人相談センター等の相談窓口の存在を、同じ国籍のコミュニティを通じて情報発信してもらいたい。
- ・病院等で常時、通訳を配置してほしい。
- ・企業内に外国人労働者向けの日本語教室をつくってほしい。
- ・母国語の緊急情報をテレビだけでなく、ネットでも入手できるような環境が必要だ。
- ・子どものころに外国に興味を持てるように、外国人と交流できるようなイベントを開催することが必要である。
- ・企業において、外国人材の文化・習慣の違いに配慮した福利厚生制度を導入し、それを広めていくことが重要である。（春節時の休暇など）

- ・母国に関する信頼性の高い情報は、大使館から発信されるので、自治体も大使館や総領事館と連携して取り組むことが必要である。
- ・外国人の方が相談しやすいように、電話だけでなく、LINE、facebook 等の SNS を活用した多様な相談窓口をつくる必要がある。

7 知事のまとめ

- ・岡山県外国人相談センターは司令塔のような存在であり、相談者の属性に応じて、ボランティアの手配やボイストラ（音声翻訳）の活用等について、各地域や言語コミュニティと連携して対応する必要がある。
- ・外国人をサポートし、地域との間を取り持つバディ（仲間・相棒）のような存在がいれば助かると思う。
- ・役所や大使館など、様々な機関と協力・連携しながら、取組を進めたい。